

宇都宮市つながりサポート女性支援事業【栃木県宇都宮市】

総事業費	13,014 千円
交付金額	9,760 千円

地域の実情と課題

- 令和3年6月に当事業を開始し、困難を抱える女性に対し、地域に身近な場所での相談支援の充実や、相談窓口の周知強化に取り組んでいるところであるが、相談窓口の認知度は48.4%と、半数程度に止まる中、支援が十分に行き届いていない不安や困難を抱える女性に対して、引き続き、相談窓口の周知や支援を充実させる必要がある。

目的・目標

- コロナ禍の影響により不安や困難を抱える女性の潜在化が懸念される中、支援が十分に行き届いていない女性に対し、身近な地域で活動するNPO等協力団体と連携したきめ細かな支援など相談体制の強化を図る。

事業の特徴

- 受託者の地域医療・保健・福祉の専門性やノウハウを活用し、地域で活動するNPO等と連携しながら、生理用品の提供をきっかけとした女性の相談・支援等に取り組む。
- 臨時相談窓口として、大型商業施設や図書館などにおいて、潜在的な相談対象者の掘り起こしを目的としたアウトリーチ型の相談会を実施
- 地域で活動するNPO等協力団体との連携による相談支援の実施
- 支援人材の養成として、各地区の民生委員児童委員やNPO等協力団体を対象とした出前講座の実施
- 市と協力団体との連携や協力団体相互の連携によるネットワーク強化のため連携会議の開催

連携団体

- 令和4年度「宇都宮市つながりサポート女性支援事業」協力団体 (84団体)
【内訳】: 医療機関, 女性支援, 子ども支援, 保健・福祉, 高齢者支援, 若者支援, 地域包括支援センターなど
- 宇都宮市虐待・DV対策連携会議 (20団体)
【内訳】: 宇都宮地方方法務局, 栃木県警察, 市民生委員児童委員協議会, 市社会福祉協議会など

事業の効果

- スーパーマーケットや銀行などの市民が日常利用する場所に、チラシやカードを配架したことにより、相談窓口の周知が図られた。
- 受託者による常設相談窓口を設置したほか、アウトリーチ型の臨時相談会を、大型商業施設や公共施設などで実施することで、市民に身近な場所での相談支援に取り組むことができ、潜在化・孤立化が懸念された困難を抱える女性の掘り起こしにつながった。
- 地域で支援に取り組むNPO団体との連携を図るため、連携会議を設置したことで、本市における官民連携や地域連携による相談・支援体制の強化を図ることができた。(NPO等協力団体84団体)

今後の課題

- 当事業の実施状況から、「女性相談所」の認知度の向上や、地域で活動する様々な分野のNPO団体等との協力連携により、孤立化が懸念された女性の掘り起こしに一定の効果が見られたが、今後も更に円滑で切れ目のない支援を行うため、様々な分野で専門性を有するNPO等協力団体の連携やネットワーク強化を図る必要がある。

事業の概要

宇都宮市つながりサポート 女性支援事業 (相談フロー イメージ図)

